

新たな息吹 SINCE2007



さわの里だより



横浜市立さわの里小学校 学校だより

URL <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/sawanosato>E-mail y3sawano@edu.city.yokohama.jp**学年末号**

冒険をした気分だった！迷路みたいだった！

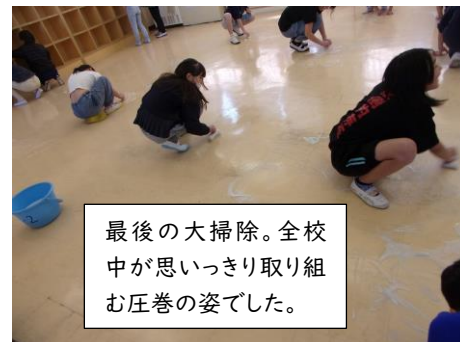
自分たちのやりたいことを精いっぱいできて楽しかった！

～ 子どもたちの成長のために、

共に歩んでいただいた地域の皆さま、保護者の皆さまに

心より感謝申し上げます～

学校長 鈴木 和枝



最後の大掃除。全校中が思いっきり取り組む圧巻の姿でした。

3月19日の朝、校庭には晴れ姿の卒業生と1年生から5年生までの在校生の姿がありました。5年生児童の司会進行の下、在校生みんなで力を合わせて卒業生を送る会が始まりました。いつも優しく、頼りになって、一致団結できるその姿は、全校の憧れでした。いつまでもいつまでも互いに大きく手を振り、別れを惜しむ子どもたちの姿は、これまでのつながりの一つひとつから、自然と生まれたものでした。

今年度も、本校では1年間の教育活動全てにおいて、「つながる力」を育てることを目標に、低学年では生活科、3年生以上では「総合的な学習の時間」を授業改善の切り口と定め、教育課程の運営と改善に取り組んできました。上の言葉は、5年生のある子どもが書いた今年度の「総合的な学習の時間」のふり返りの一部です。この子にとって、この学級にとって、いえ、おそらく全ての学級において、自分たちが取り組むと決めた道は平坦ではなく、様々な苦勞、壁がありました。一つ乗り越えたら、また次の壁がある…その連続でした。この子は、ものづくりに取り組んだのですが、そうそう簡単にはできないことに気が付きます。道具の使い方一つとっても、全然自分の思うようにはいかず時間だけが過ぎていく。そんな中で、地域の方々と出会い、どうやったらうまくできるのか、一つひとつ教えていただきます。何時間も時間をかけてやってみると、だんだんと最初よりもできるようになってきている自分に気が付きます。そして、ついに自分がやりたいと思っていたことができ、作りたかったものが完成。「ものづくり」の大変さとおもしろさを全身で感じ取り、「いろいろなことがわかったから、もっとつくってみたい。」という思いに至りました。彼は、「ものづくり」を通して、「あきらめないこと」「つくるということはその過程がとてもおもしろいこと」、そして「人とつながることはとても嬉しく楽しいこと」を学びました。その上で「もっとやってみたい。」と自分の有用性を信じ、自己の力を発揮しようとしています。

このような子どもの姿が、たくさん育ってきた令和5年度でした。それは、ひとえに、本校が目指す子どもの姿をご理解いただき、本校の教育活動を温かく、そして力強く支えていただいた地域の皆さま、保護者の皆さまのおかげです。心より御礼申し上げます。最後に、5年生が、今年度最後の国語科の読み物教材「やなせたかし—アンパンマンの勇気」を学習した後のふり返りを紹介し、しめくくりとしたいと思います。

ぼくは、やなせたかしさんの「才能がないと思ったけれど仕事は絶対に手をぬかなかった」という考えに共感する。なぜかと言うと、ぼくはよく勉強の手をぬいて、できるけれどやろうとしていない。だけど、やなせたかしさんは、「自分には才能がないかも。」と思っても手をぬかずに仕事をしたのがすごいと思う。ぼくも、やなせたかしさんのようにやろうと思う。

来年度は、この子たちが学校を創るリーダーです。これまでほんとうにありがとうございました。

令和6年度も、さわの里小学校をどうぞよろしく願いいたします。